

### 基本目標 1

自然とのふれあいを通じた生物多様性の重要性の市民への浸透  
◆数値目標

項目	目標値（年度）	H29	H28	H27
1 本市が取り組む環境学習プログラムとしてのエコツアー参加人数	6,500人（2020）	4,285	5,376	5,697
2 響灘ビオトープのガイドツアー参加人数	4,000人（2020）	4,476	4,819	4,548
3 自然環境体感ツアーの参加人数	500人（2019 累計）	312	163	36

#### ◆基本施策に基づく主な取組

響灘ビオトープガイドツアー・自然体感ツアー（エコツアー（自然観察講座））

藻場の造成（1箇所）・産卵礁の設置（12基）  
種苗放流・藻場等の環境保全活動（5箇所）  
（水産環境の保全）

竹の搬出（300t）・竹等粉砕機の貸出（13件）  
（里山の新しいあり方の検討）



### 基本目標 2

地球規模の視野を持って行動できるような高い市民環境力の醸成  
◆数値目標

項目	目標値（年度）	H29	H28	H27
1 小学生の環境体験科における響灘ビオトープ活用数	25校（2020）	21	22	29
2 響灘ビオトープのガイドツアー参加人数【再地】	4,000人（2020）	4,476	4,819	4,548

#### ◆基本施策に基づく主な取組

エコライフステージ2017

環境首都検定（受験者数 4,320人）  
（環境学習事業の推進）

青少年施設を利用した自然体験活動  
（青少年の家の利用者数198,994人）  
（少年自然の家等における野外教育の推進）

ほたると水辺の環境学習会（年5回 103名参加）  
（ほたるとのふるさとづくり）



### 基本目標 3

自然環境の適切な保全による、森・里・川・海などがもつ多様な機能の発揮  
◆数値目標

項目	目標値（年度）	H29	H28	H27
1 自然環境保全に取り組む団体への支援件数	10件（2024）	12	11	10
2 「北九州市自然環境保全ネットワークの会」参加団体等が開催する自然環境保全活動参加者数	約2,000人（2024）	2,700	2,600	2,000

#### ◆基本施策に基づく主な取組

市民いっせいまち美化の日  
（まち美化ボランティア参加者数 136,578人）  
（さまざまな主体による美化活動の一環としての自然環境の保全）

首都圏等へのセールス（315件）  
観光客数（動態調査結果）（2532.4万人）  
（平尾台の保全と利用）

市政だより、ていたんプレス、HPでの広報  
（外来種に対する市民啓発の実施）



### 基本目標 4

人と自然の関係を見直し、自然から多くの恵みを感じることができる状態の維持  
◆数値目標

項目	目標値（年度）	H29	H28	H27
1 環境首都100万本植樹プロジェクトによる植樹本数	1,000,000本（2024 累計）	704,724	678,186	657,903
2 市街地（市街化区域）の緑の確保	9.5%（2020 累計）	8.3	8.3	8

#### ◆基本施策に基づく主な取組

H29時点での累計植樹本数 704,724本  
（環境首都100万本植樹プロジェクト）

鳥がさえずる緑の回廊植樹会（約5500本植樹）  
植栽場所の草取りイベント・市民向けの学習会  
（響灘・鳥がさえずる緑の回廊による響灘埋立地の緑の創成）

環境配慮点検制度の運営  
（57件の公共事業について点検）  
（北九州市環境配慮指針の活用推進）



### 基本目標 5

自然環境調査を通じて情報を収集、整理、蓄積し、保全対策などでの活用  
◆数値目標

項目	目標値（年度）	H29	H28	H27
1 ベッコウトンボ市民調査実施回数	3回（2020）	3	3	3
2 曾根干潟における生物調査の実施	4回（2020）	8	7	7

#### ◆基本施策に基づく主な取組

ベッコウトンボ市民調査（3回）  
曾根干潟環境調査  
（底生生物1回、鳥類3回、底質調査1回、過年度資料整理）  
曾根干潟モニタリングサイト1000（年3回 環境省実施）  
（実態把握の推進）

「自然環境情報GISデータベース」の構築  
今後、希少種や分布情報のデータ整理、調査結果集約に向けた庁内連携及び共通様式の作成を検討。  
（GISを用いた自然情報データベースの充実と維持管理）

### ◎ 本戦略とSDGsのゴールの関係

SDGsのゴール	本戦略 基本施策との関わり	施策数
2. 飢餓をゼロに	森林水産物の増産による持続可能な食糧生産システム確保など	1
3. すべての人に健康と福祉を	様々な主体による種樹の実施や環境に配慮した開発事業の実施など	10
4. 質の高い教育をみんなに	自然環境学習を通じたESDの推進など	20
6. 安全な水とトイレを世界中に	水に隣接する生態系の保護・回復など	12
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	バイオマス資源などの再生可能エネルギーの積極活用など	4
8. 働きがいも経済成長も	自然の観光資源としての活用や様々な生態系サービスの提供など	7
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	生態系を利用した防災・減災の推進による持続可能で強靱なインフラ整備など	16
11. 住み続けられるまちづくりを	都市緑化の推進や生態系を利用した防災・減災など	22
12. つくる責任つかう責任	バイオマス資源などの再生可能資源の積極活用など	10
13. 気候変動に具体的な対策を	森林の適正管理による森林吸収源、バイオマス資源の積極活用など	9
14. 海の豊かさを守ろう	海洋及び沿岸の生態系保全、資源回復に向けた取組など	33
15. 陸の豊かさを守ろう	森林の適正管理や生態系の環境の保全、希少種の保護、外来種対策、環境アセスメントの推進など	45
17. パートナリシップで目標を達成しよう	団体や企業、自治会等との協働による自然環境保全活動の実施など	7

#### 「15. 陸の豊かさを守ろう」（45施策）

例）エコツアーの実施、自然環境保全活動支援事業、地産地消の推進、ほたるとのふるさとづくり 等

#### 「14. 海の豊かさを守ろう」（33施策）

例）エコツアーの実施、自然環境保全活動支援事業、曾根干潟の保全と利用、水環境館での市民啓発 等

※27施策がゴール14・15の両方に関連



### 生物多様性（陸・海の生態系）の保全に寄与

#### 「11. 住み続けられるまちづくりを」（22施策）

例）鳥がさえずる緑の回廊創成事業、新・海辺のマスタープランに基づく水際線の整備、北九州市環境配慮指針の活用 等

#### 「4. 質の高い教育をみんなに」（20施策）

例）各学習施設の運営、環境アクティブラーニング、環境修学旅行 等



本戦略における都市緑化や環境学習等の取組がまちづくりや教育にも貢献

### ◎総合評価

- ・数値目標（11項目）のうち8項目で目標を達成
- ・60の基本施策において、基本目標の達成に向けた取組みを推進

第2次北九州市生物多様性戦略は、おおむね順調に進捗。